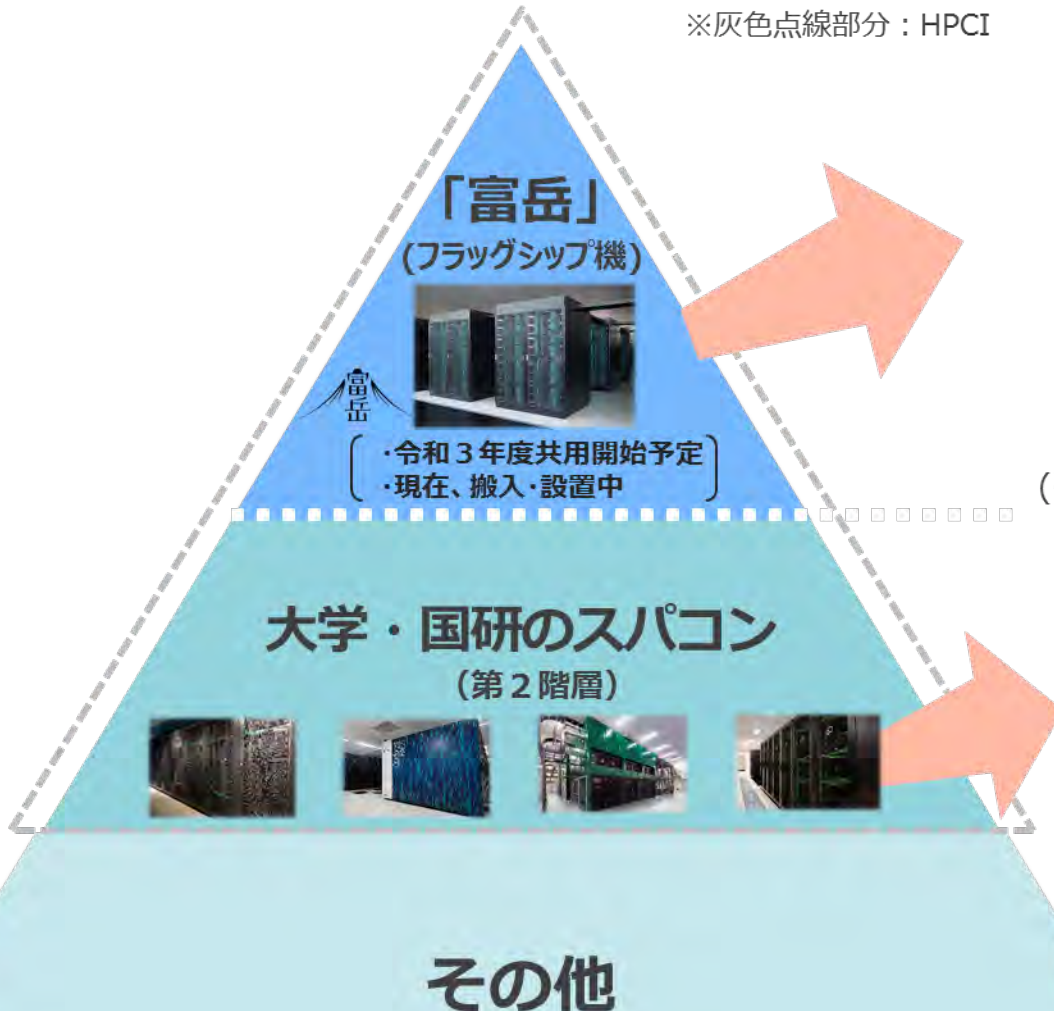


新型コロナウイルスに係る研究等へのスパコン利活用スキーム

- ・スパコンは我が国の科学技術イノベーションの発展を支える重要な計算基盤であり、新型コロナウイルスの研究・対策についても同様
- ・令和2年度から試行的利用を開始する「富岳」のほか、大学・国研が有する我が国の計算資源を同研究に対し、積極的に活用

HPCI(革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ)

※灰色点線部分：HPCI



「富岳」

【4/7より課題実施】

- 現時点で提供可能な計算資源を活用
- 研究課題については、設置・運用法人である理化学研究所と連携のうえ、文部科学省にて決定
(実施課題) ※課題追加に係る窓口を理研に設置
 - ◆ 新型コロナウイルス治療薬候補同定
 - ◆ 新型コロナウイルス表面のタンパク質動的構造予測
 - ◆ パンデミック現象及び対策のシミュレーション解析 等

中期的には共用開始前の試行的利用として「富岳」での公募を予定
(引き続き新型コロナウイルス研究目的に対する計算資源枠の設定を検討中)

大学・国研のスパコン(「富岳」以外)

【4/15から公募開始】

- 我が国では「富岳」(令和3年度～)を中核としたスパコン等を高速ネットワーク(SINET)で結んだシステムを運営
(文科省委託事業「HPCIの運営」)
- HPCI構成機関(大学・国研)に対し、計算資源の協力を依頼
- 早急に臨時公募および迅速な審査を実施し、新型コロナウイルスに係る課題に対し、計算資源を活用

自然科学×人文・社会科学等からの貢献（今年度の公募）

◆人文・社会科学の知見を活用したリスク判断手法の高度化等による公衆衛生等に係る政策立案への貢献

行動経済学・社会心理学・法学・倫理学など人文・社会科学の知見の活用により、新型コロナウイルス感染症に起因する様々な社会事象における市民、消費者の反応などを分析し、エビデンスに基づくリスク判断、リスクの公平な配分につながる利害調整など、緊急時の社会的意思決定における科学的エビデンスの提示などの手法を高度化する取組につなげ、公衆衛生行政等における政策立案や情報発信プロセスへの実装を進める。

【令和2年度公募概要】

JST社会技術研究開発センター（RISTEX）

「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践」研究開発プログラム
（令和2年度新規予算）8千万円程度/プログラム全体（15件程度（※）×3百万円～8百万円）
（公募期間）令和2年5月1日（金）～6月23日（火）正午

（※）この内、課題数件を新型コロナウイルス関連課題枠を設け積極的に採択

注）本取組を一過性のものとして扱うのではなく、研究開発として確実に成果を創出し、社会に届けるために令和3年度以降の継続的な事業実施を検討